

しちがはま

議会だより

No. 116

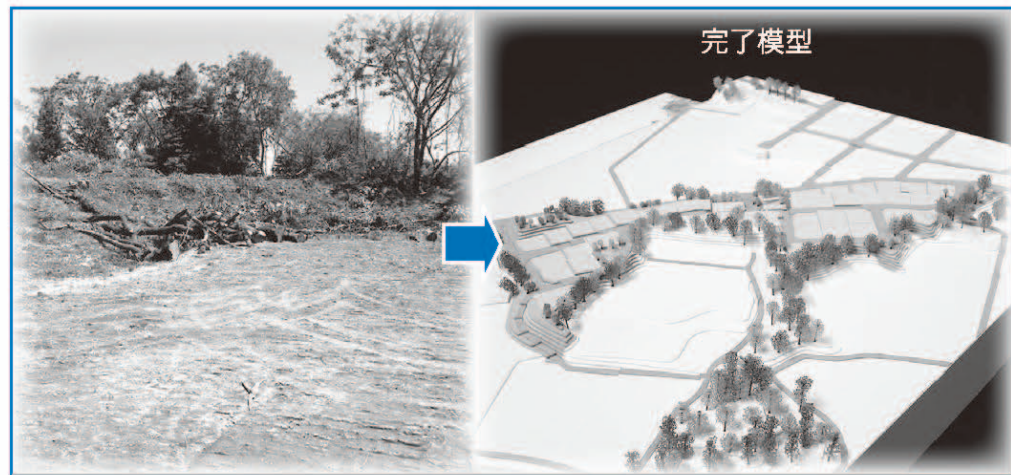
平成25年7月12日
宮城県七ヶ浜町議会



ワイ！やったー

(ちびっ子すもう大会)

特集 造成工事が始まる	2
風しん予防接種を全額助成	4
防災の取り組みを視察	7
おらほの幼稚園紹介シリーズ -第3回-	15



完了模型

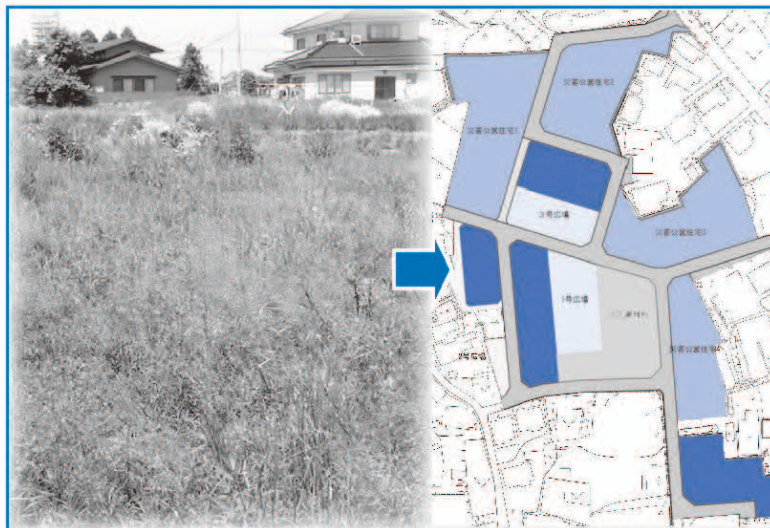
菖蒲田浜中田地区 平成26年3月完了予定



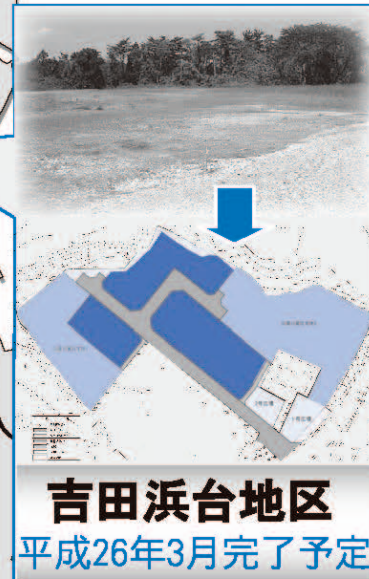
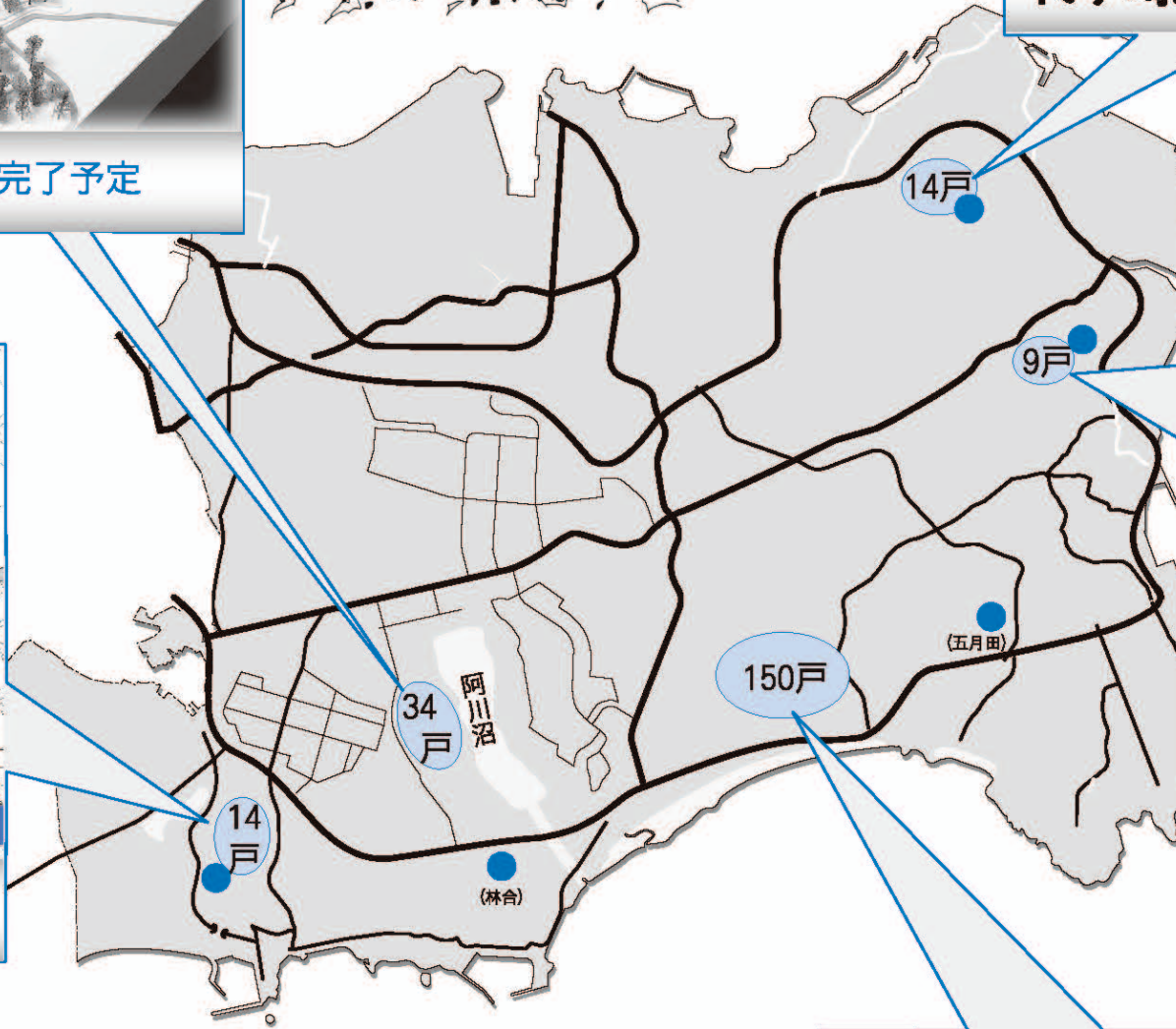
凡 例	
	宅 地
	集会場用地
	災害公営住宅地
	区画道路
	歩行者専用道路
	広場・緑地



代ヶ崎浜立花地区 平成26年3月完了予定



松ヶ浜西原地区 平成26年3月完了予定



吉田浜台地区 平成26年3月完了予定

6月定例会を6月5日から6日までの会期で開催しました。条例や契約、25年度補正予算など9件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。
また、一般質問は6人が町の考えをいただきました。
特集は、防災集団移転促進事業として行う団地造成の内容をお知らせします。

高台住宅 団地造成

5地区すべての事業者決定 復興に向けて一歩前進



災害公営住宅は やっぱりいいもの？

地図に●印がついている5地区（松ヶ浜西原・菖蒲田浜林合・花洲浜五月田・吉田浜台・代ヶ崎浜立花）すべての建設用地は確保したよ。住宅を建てるのは宮城県に頼んでいるんだ。平成27年3月までには完成する予定だから待っていてね。

移転希望者の声

4月に起工式が終わっても工事が始まらないので、皆さんに強い不安と不満がありました。やっと工事の槌音が聞こえてひと安心。私たち6人の家族も心が明るくなり、希望を持って頑張りたいと思っています。



鎌田 由美さん
(花洲浜)



花洲浜笹山地区 平成27年3月完了予定

議案審議

6月定例会では、平成25年度一般会計補正予算（第2号）や高台団地造成工事の契約などを審議し、原案のとおり可決しました。
 なお、平成25年度予算は、歳入歳出それぞれ1億9155万円を追加し、総額206億8200万円としました。

議案番号	議案名	賛成	反対	議決結果	阿部 慶也	我妻 周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川 渡	遠藤 久和	角 靖志	大町 睦夫	糸久 博	遠藤 喜二	鈴木 勝美	渡邊 淳	阿部 和夫	鈴木 初雄	岡崎 正憲	佐藤 梶信	
議案第49号	職員定数条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	東日本大震災における原子力発電所の事故による災害被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	財産の取得「被災地域農業復興総合支援事業関係備品一式」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	財産の取得「学校給食センター厨房機器一式」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	工事請負契約「平成25年度吉田浜台地区及び代ヶ崎浜立花地区高台住宅団地等造成及び公共施設整備工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	工事請負変更契約「平成24年度七ヶ浜中学校校舎解体工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成25年度一般会計補正予算（第2号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成25年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	平成25年度水道事業会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 議長（佐藤梶信）は採決に加わらない。

風しん予防接種費 全額無料へ

質疑

風しん予防接種助成へ
（117万円）

問 対象者と接種医療機関は。

答 健康増進課長 19歳から49歳までの妊娠を希望する女性と配偶者および、妊娠している女性の配偶者が対象で、無料での接種となる。塩釜管内の医療機関をポスタ一と広報紙で案内する。

太陽光発電設置住宅への助成を追加（540万円）

問 現在の申し込み件数と今後の見通しは。

答 環境生活課長 5月末現在で60件となり、まだ申し込みがあるので追加した。



すこやかな成長を願います
（写真は記事とは直接の関係はありません）

お も な 内 容

一般会計	補正額
■歳入	
地方交付税	1億 946万円
県の補助金	2112万円
基金からの繰入	6180万円
■歳出	
水産業共同利用施設復旧への補助金	1億 946万円
被災農家経営再開支援事業への補助金	1483万円
高齢者地域見守り支援事業へ	319万円

ひとこゝろ
 曳家とは
 建築物を基礎から切り離した状態で移動する建築工法。

答 被災復興推進課長
 高上げが伴えば該当する。

問 曳家は対象となるのか。

答 被災地地域農業復興支援等に伴う一般会計補正予算（第1号）などを審議し、原案のとおり可決しました。

臨時議会

4月24日に第2回臨時議会を開催しました。被災地域農業復興支援等に伴う一般会計補正予算（第1号）などを審議し、原案のとおり可決しました。

工事契約

●町民テニスコート等
 改修工事
 契約先 ㈱浅沼組
 東北支店
 金額 1億3125万円
 工期 平成25年12月20日

補正予算

☆ミニライセンサーや育苗施設等の整備工事
 （1億1830万円）

財産の取得

●代ヶ崎浜立花地区
 高台住宅用地ほか
 9146・31㎡
 取得金額 905万円

質疑

☆仮設ポンプ等設置業務委託料（3937万円）

問 仮設ポンプは常設的なポンプなのか、災害時のみ設置するのか。

答 建設課長 災害時対応である。ポンプは年間リースで町内委託業者の倉庫で管理してもらう。

議案番号	議案名	賛成	反対	議決結果	阿部 慶也	我妻 周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川 渡	遠藤 久和	角 靖志	大町 睦夫	糸久 博	遠藤 喜二	鈴木 勝美	渡邊 淳	阿部 和夫	鈴木 初雄	岡崎 正憲	佐藤 梶信	
議案第45号	工事請負契約「平成24年度町民テニスコート等改修工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	工事請負契約「平成24年度松ヶ浜西原地区高台住宅団地等造成及び公共施設整備工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	財産の取得	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成25年度一般会計補正予算（第1号）	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 議長（佐藤梶信）は採決に加わらない。

財産の取得

●学校給食センター
 厨房機器一式
 契約先 ㈱中西製作所
 東北支店
 取得金額 2億2050万円

工事契約

●被災地域農業復興総合支援事業関係備品一式
 契約先 仙台農業協同組合
 多賀城機械化センター
 取得金額 3209万円

工事変更契約

●七ヶ浜中学校
 校舎解体工事
 契約先 鹿島建設㈱
 仙台支店
 金額 204万円を減額
 （解体がれきは一部震災処理扱いとなるため）

委員会レポート

これも議会の仕事です

— 5月に開催した議会報告会の内容は次号で報告します —

総務

委員会ではこれまで災害に強いまちづくりを継続して取り組んでまいりました。調査事項である避難収容対策や食料・飲料水生活物資の確保等を調査するため、岩手県遠野市と宮城県気仙沼市を視察研修しました。

（5月8日遠野市訪問）

主な研修内容

- 東日本大震災では大槌町をはじめ、被災した沿岸部への炊き出しや現地ボランティア、支援物資の配布など官民一体の後方支援活動を行った。
- ヘリコプターを使った沿岸部への医療救護や救援物資輸送訓練など、日頃の訓練が大いに生かされ迅速な後方支援へとつながった。



遠野市長が説明

遠野市・気仙沼市を視察

— 災害から身を守る日頃の訓練と備え —

（5月9日気仙沼市訪問）

主な研修内容

- 民間会社も含めた津波避難ビルの指定。（人工高台として津波から身を守ることに活用している）
- 地区住民も参加する「ぼうさい運動会」を実施し災害への意識高揚を図っている。
- 飲料水メーカーと協力し、震災時無料で飲み水が確保できる自動販売機を設置した。今後も拡大を図っていく。



気仙沼市の被災地視察

5月22日委員会を開催し、主な3点を視察の総括としました。

- 行政主導による自衛隊と連携した総合訓練の実施が必要。
- 震災時に自動販売機から飲み水が確保できる救援ベンダーの導入や、メーカーの登録制による食料品や生活物資の確保が必要。
- 医薬品やアレルギー対応の食料品の備蓄も必要。今後のまちづくりへ反映していきます。



教育民生

七ヶ浜中の校舎解体も終盤に

校舎解体工事が、学校および周辺住民に配慮した安全なものであるかを確認するため5月7日、七ヶ浜中学校校舎解体現場を視察しました。

施工業者の責任者から解体工法として次の4点

- ・アスベスト除去方法
- ・PCBの廃棄
- ・騒音・粉塵
- ・廃棄物搬出の安全対策

の説明を受けました。作業現場内は整理整頓がされており、安全対策もしっかり行われていました。コンクリートおよび木造校舎棟の解体工事期間は、平成25年8月30日までの予定です。



さようなら旧校舎

また、5月20日遠山保育所を視察しました。終了後会議を開催し担当課から開所までの経過説明を受け、各委員から視察の結果を踏まえた問題点が提起されました。数多くの問題点がありました。重要な数点を一般質問で確認することにしました。さらに子どもたちが安心して元気に活動できるよう、安全確保の改善を求めました。

今後も調査を続けながら2年間の活動をまとめっていきます。

追跡



どうなったの？

あの質問のゆくえ

今回は議会報告会で住民から寄せられた震災復興関連の質問を取り上げました。

浸水対策を早急に

要害の雨水対策はどうなったのか。

〈平成24年11月議会報告会〉

答弁

議会の回答

県と町が協議中であり、大雨の時はポンプ排水で対応する。

そして

年間を通してポンプ強制排水を業者に委託

要害の他に東宮浜、代ヶ崎浜、花淵浜地区の浸水地域へ6インチポンプ8台を年間リースで配備。応急的処置ですが高潮や雨水への対応がしやすくなります。

工事計画はどうなっているのか

津波で流出した吉田浜の消防ポンプ自動車置場の工事が着手されていないが。

〈平成24年11月議会報告会〉

答弁

議会の回答

順次進めており平成25年3月完成予定である。

そして

平成25年3月19日に完成しました

場所 【吉田浜字前塚47番地の3】



消防ポンプ自動車置場は七ヶ浜町消防団第8分団の待機所も兼ねています。



うたがわ わたる
歌川 渡

改築した遠山保育所の改善を図れ

町長 使用するなかで改善していく



外気が直接入る給食室

問 食品衛生管理を考え、給食室に前室設置を。

答 町長 入口にレシーブカーテン設置等を考えている。

問 板張り廊下に雨水等の吹き込み、腐食防止の底を。

答 板張り廊下は半屋外デッキの役割をしている。

問 保育室と廊下段差をバリアフリーに。

答 雨水等が保育室に浸入しないよう段差を設けた。車イス対応には段差にスロープを設置している。

問 随所にあるコンクリート床を板張りに改修を。

答 敷物で寒さ対策をしている。

問 トイレ中央の手洗い場を空間活用のため移設を。

答 どの角度からも利用できるよう設置した。

問 食の安全を堅持するかと考えている。

答 食の安全を堅持するかと考えている。

問 保険外診療の拡大で、医療格差が広がり、十分な医療が受けられなくなるのでは。

答 国では公的医療保険はTPP交渉の対象になっていないと言っている。

問 健康調査の受診者に東北メディカル・メガバンク事業内容を十分説明し、理解されたのか。

答 町長 口頭、文書で事業協力をお願いし、同意署名した方のみ追加検査している。

問 住民の協力中止時のデータの取扱い、住民や自治体への被害補償は充分か。

問 健康調査の受診者に東北メディカル・メガバンク事業内容を十分説明し、理解されたのか。

答 町長 口頭、文書で事業協力をお願いし、同意署名した方のみ追加検査している。

問 協定に基づき、違反や重大事故時等はメガバンク機構から報告を求め、協議することになっている。

答 協定に基づき、違反や重大事故時等はメガバンク機構から報告を求め、協議することになっている。

問 次回より中止する考えはないか。

答 未来型医療の構築に寄与するものと期待している。

問 町の産業である漁業や農業、商工業の総生産額の推移は。

答 町長 国では約3兆円の経済減少があるといわれている。本町にも影響があると思う。

問 外国企業の公共事業参入で、地元事業の衰退、雇用減少・失業の拡大で地元と与える影響は。

答 町長 TPP参加に賛成か。

問 地方公共事業の市町村レベルまでの参入は想定しているか。

答 町長 TPP参加に賛成か。

問 町民へのメリットの可能性もあり、表明は控えないか。

問 町長 長期健康調査への協力である

問 健康調査の受診者に東北メディカル・メガバンク事業内容を十分説明し、理解されたのか。

答 町長 口頭、文書で事業協力をお願いし、同意署名した方のみ追加検査している。

問 協定に基づき、違反や重大事故時等はメガバンク機構から報告を求め、協議することになっている。

答 協定に基づき、違反や重大事故時等はメガバンク機構から報告を求め、協議することになっている。

問 次回より中止する考えはないか。

答 未来型医療の構築に寄与するものと期待している。

TPP参加は地域経済の崩壊を招く 町長 条約内容を注視していきたい



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、5日と6日の2日間行い、6人が活発な議論を展開しました。
内容は質問者の原稿を原文に近い形で9ページから14ページに掲載しています。
なお、タイトルは通告のとおりです。

- 歌川 渡 ……9ページ**
 - 子ども達が快適に過ごせる施設環境の改善を
 - TPP（環太平洋連携協定）参加による本町の影響について
 - 住民健康診査事業における東北メディカル・メガバンク事業の協力について
- 糸久 博 ……10ページ**
 - 町民の健康保持について
- 郷右近剛史 ……11ページ**
 - 小学校・中学校における防災教育について
- 渡邊 淳 ……12ページ**
 - 区画整理事業を促進するための対策について
- 鈴木 勝美 ……13ページ**
 - 町民体育館建設の予定は
- 千葉志美枝 ……14ページ**
 - 風疹の予防接種費用への公費助成について



郷右近 剛史

小中学校の防災教育は 教育長 計画の見直しを図っている

問 学習指導要領の制約もあるが、年間時間数は少ないのではないのか。

答 小学生は低学年で6時間、中学年で8時間、高学年で10時間。中学生は全学年共通で5時間を予定している。

問 今年度の防災教育の年間時間数はどのくらいを予定しているのか。

答 教育長 町内5つの小中学校が統一した内容で、学校防災計画の見直しを図っている。

問 子どもたちの防災意識を高める防災教育の在り方をどのように考えているのか。

答 妥当であると思うが十分とも言えないので、場合によっては時間を増やすなど柔軟に対応していきたい。

問 防災教育の内容はどのようなものか。

答 机上で行う震災に関する知識学習と、実際に体を動かして行動する訓練とに分けられる。また、生涯学習事業の児童生徒防災体験教室を実施している。

問 子どもたちの防災意識を高めることはできるのか。

答 避難訓練など震災前のほうが子どもたちの真剣さが違う。

問 児童生徒防災体験教室の参加者が少ない。子どもたちの防災意識が高まっているのか。

答 生涯学習課長 昨年は24人で大変少なかった。今年は50人を超えるくらいを考えている。

問 町民の健康づくり推進事業の一環として、特定健康診査と保健指導を実施している。高血圧や糖尿病などの生活習慣病の予防を目的に平成20年度から始まったが、これまでの実績は近隣市町と比較してどうなのか。

答 町長 特定健康診査の受診率は国や県の平均より高く、二市三町では利府町の次に高い。保健指導は、保健師のきめ細かい指導が効果を上げており県内上位である。

問 今年度は5月20日から6月2日まで、町武道館を会場に実施した。基本健康診査がん検診に東北大学の調査が加わり会場は混雑した。調査の目的と内容は何か。

答 東日本大震災の被災地を対象に、東北メディカル・メガバンク機構が住民の健康を守るために行うものである。20歳以上75歳未満の同意者にアンケート調査や採血、採尿などを依頼し、結果は個々に対応する。

問 健康診査受診者へ事前調査の案内を案内できなかったのか。

答 機構から3月に協力要請があり、5月中旬に協定を結び5月20日から調査を実施した。県内での調査は初めてで迷惑を掛けたと謝罪があり、担当者との協議により3日目から順調に行われた。

問 健康診査会場は受診者の利便性を考慮した場所とし、一人でも多く受診して「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚を図ることが必要ではないか。

答 健康増進課長 震災で公民分館が使えない地区もあり、整備後に検討し対応していきたい。

問 健康診査時の自己負担金(1000円)が直前に無料となった理由は何か。

答 町民課長 国保財政調整基金の決算見込みで充当できると判断し、二市三町が足並みを揃えて無料とした。

問 県の調査によると、仮設住宅に入居している世帯の4割以上が心身の不調を訴えているが、本町の状況はどうなのか。

答 町長 約3割であるが、現在実施している東北大学と連携した見守りを専門医の協力を得て継続していく。仮設住宅の入居者が新しい所に移るまでは気を抜かずに対応していきたい。



健康はみんなの願い



ひろし 博

特定健康診査の受診率向上を

町長 本町は国や県の平均より高い

平成年度	実		積	
	特定健康診査受診率%	(県平均)	保健指導終了率%	(県平均)
20	52.7	(47.6)	33.0	(12.4)
21	50.1	(46.0)	34.7	(18.7)
22	50.9	(45.2)	41.9	(15.8)
23	40.2	(43.4)	45.2	(12.6)



小中学校の防災教育 (気仙沼市のホームページから)

町民体育館の再建は

町長 既存施設の有効利用を考えている



かずみ かつみ
鈴木 勝美

問 震災被害を受けた町民体育館は使用不能となり、やむなく解体に至った。体力づくりや健康維持を目的とした健康スポーツセンターアクアリーナがあるものの、体育館はさまざまなスポーツ大会が開催されるなど、スポーツの振興に利用されてきた経緯があり残念でない。

答 町長 現状復旧も考えたが40年経過した建物であり解体した。これまでの利用者はアクアリーナや学校の体育館を利用しており現在支障はないと考える。利用者団体に問い合わせても問題がないとの回答である。復興交付金事業による防災拠点施設整備事業として、生涯学習センターの改修計画があり、また軽運動場も改修し従来通りの運動場として復旧の予定。

問 生涯学習センターは災害発生時には避難所として、スパーク七ヶ浜は緊急支援助物資を機能的、衛生的に保管できるような改修の予定である。既存施設の有効利用を計画している。

答 体育館建設は国の災害支援を受けられたのではない。

問 震災であるからといってすべてのものが該当するとは限らない。



解体された体育館跡地



40年間多くの町民が利用した体育館

問 学校の体育館は教育のための施設であり今の状況だからといって問題はないのか。

答 町長 町民の健康増進に施設が足りないのではない。

問 教育総務課長 学校施設の利用は学校教育以外にも開放している。

答 生涯学習課長 調査し、スポーツ関係団体とも話しを煮詰め施設の整備に努める。



新しい都市計画区域の縦覧

問 今回の区画整理は行政の強制力が強い。町民の意見がないと町民は理解したとして事業は進む。法的に進んで戻れないならば、どのような方法で事業を地域住民に浸透させていくのか。

答 町長 地元説明会や区長を入れた代表者会議を繰り返し行い理解は深まっていると感じている。しかし、町民から地域の復興や環境改善、安全安心を確保して欲しいなどの強い声があり、個々の意見を調整しながら進めている。地域住民のさまざまな意見を反映し理解を高めるよう取り組む。

問 事業は進むがその決定は審議会で行われる。審議会構成員の選定方法は町民にどのように説明していくのか。

答 震災復興推進課長 一地区ごとにわかりやすく説明し、9月議会に条例案を提出する予定である。委員は地区ごとに選挙で選ばれる。選挙方法の詳細は地元説明会で案内する。

問 花洲浜地区の区画整理内業務用地に關し、ハイパースクエア以外の民間参入を促進していくのか。

答 町長 民間活力を主体にし、地元の方と復興まちづくりを促進しようと考えている。どの程度の土地で今後の事業を展開していくのかを最優先に聞いて今後決める。

問 震災復興推進課長 最初に地元の方々に優先し、その後、産業課と連携し外部参入も公募やネットでの募集もある。

問 区画整理事業地区の高上げができる要件に合った計画を検討したのか。

答 町長 要件を満たしても、計算上は津波の高さが2m未満であり、国費での高上げは難しい。排水路整備を行いながら陥没箇所を高上げし、地域全体の環境と防災性を向上させる方向で国や県と協議している。追加策として、被災の定住促進策である町独自支援の補助額を増額し救済する。高上げについては詳細に検討を進め9月には代表地点の高さ、年内には全体の高さを決める。住民の合意が何より大事である。

問 区画整理事業とあわせた事業展開で町独自支援策の補助率を4分の3にできないか。

答 公平性をもって検討してきたが現在ではそこまで踏み切れない。今後は、さらに検討したい。



わたなべ あつし
渡邊 淳

区画整理事業理解の工夫は

町長 地区ごとにわかりやすく

学校法人同性寺学園

認定こども園

汐見台幼稚園・保育園



隣には緑地公園。園庭も広く、明るい環境と豊かな自然の中で一人一人を大切に、園児たちはのびのびと健やかに育っています。



【教育目標】

仏教精神を基本とし「きまりを守り集団生活を楽しむ」「生き物を大切に」「社会や自然の恵みに感謝する」この三つを柱とし、宗教的情操教育を行っています。

【沿革】

★昭和60年4月 学校法人同性寺学園三つ目の幼稚園として汐見台幼稚園を設立。宮城県知事の認可を受ける。
★平成23年3月 認定子ども園として宮城県と七ヶ浜町の認可を受ける。
★平成23年4月 認定子ども園を開園



認定子ども園となり今年で三年目を迎えます。開園した当初は震災の影響もあり大変なスタートとなりましたが、多くの方々のご協力ご支援のお蔭で無事乗り切ることができました。これからも園児たちが健やかに育ち、保護者の子育てが充実したものであるように、今後さまざまな活動や経験ができるような環境、そして質の高い教育内容を実施していきます。



ちば しみえ 千葉 志美枝

風しんの予防接種に助成を

町長 7月から全額無料にする

問 風しんが全国的に大流行を見せている。患者は年代別にみると20代〜40代に多いが、免疫のない世代へどのような方法で予防接種を呼びかけているのか。

答 町長 大人の予防接種は任意であり積極的な呼びかけはしてこなかったが、妊娠をしている女性などから10件程度の問い合わせがあった。

問 町の掲示板へ、啓発用のポスター等を貼り出しては。

答 健康増進課長 現在二市三町で共通のポスターを考えているので対応したい。また、広報紙も活用していく。

問 血液検査で免疫の有無を確認できると聞か、推進する考えは。

答 予防接種と同じくらい多額の費用がかかっています。

問 本町では現在、風しん患者はどれくらいいるのか。また宮城県内での患者数の現状は。

答 町長 5月23日現在七ヶ浜町にはいない。県内では42人である。

問 助成の金額はいくらに決めるのか。

答 助成の金額は本定例会に補正予算として、今年度の風しん予防接種にかかる補助金と委託料を提案している。

問 助成の対象者は。

答 19歳〜49歳以下の妊娠を希望する女性と

問 助成の対象者は。

答 助成の対象者は、塩釜医師会と検討中である。

問 助成の金額はいくらに決めるのか。

答 助成の金額は本定例会に補正予算として、今年度の風しん予防接種にかかる補助金と委託料を提案している。

問 健康増進課長 接種の際に窓口の自己負担なしで実施したい。4月にさかのぼる分は、領収書を提出してもらい払い戻しとする。

答 健康増進課長 接種の際に窓口の自己負担なしで実施したい。4月にさかのぼる分は、領収書を提出してもらい払い戻しとする。

患者急増、昨年の30倍
妊娠初期に障がいへの恐れも

風しんの流行拡大が続いている。国立感染症研究所などによると、今年に入ってから第15週（〜4月14日）までの累積患者数は全国で4068人（速報値）と、昨年同時期までの約30倍で、2008年以降、最悪のペースだ。風しんに対する免疫がないか、あるいは不十分な妊娠初期の女性がかかる。胎児の目・耳・心臓などに先天性の障がいが出る恐れがある。流行のピークを迎える前に、町民の声を聴き、風しんワクチンの接種の対応などをまとめた。

風しんに万全の備え

年齢	0〜22	22〜33	34〜50	50〜
生年月日	1990年4月2日以降	1979年4月2日〜90年4月1日	1962年4月2日〜79年4月1日	1962年4月1日以前
男性	医療機関などで個別接種1回	接種なし	接種なし	接種なし
女性	医療機関などで個別接種2回、18〜22歳接種率が高い	接種なし	学校での集団接種1回	接種なし

※年齢別は2013年4月1日時点

「人ごとと思わず接種して」
町長は、風しんワクチンの接種を呼びかける。風しんは、妊娠初期に感染すると胎児に先天性の障がい（先天性風しん症候群）を引き起こす恐れがある。また、成人でも免疫がないと、発熱やリンパ節腫大などの症状が現れる。町民の声を聴き、風しんワクチンの接種の対応などをまとめた。

感染防止を呼びかける新聞記事

町民の声



集会所で聞きました (漢浜仮設住宅)

皆さんたちのコミュニケーションはどうか。10世帯が周辺の草取りや、ゴミ拾いなどに協力して、絆を深めながら和気あいあいと暮らしています。

仮設住宅の生活が3年目になりますが、困ったことはありませんか。

部屋が狭くて不便ですが、移転できるまで頑張ります。ボランティアの方や介護予防教室の先生たちにお世話になり感謝しています。悩みなどは集会所を利用して、お茶飲みで解消しています。

高台団地の造成工事が始まりましたが感想は。

仲良くなった皆さんと別々になるのは寂しい気持ちもしますが、早く新しい住居に入りたいです。

町や議会にひと言。

復興に関する情報は、きめ細かに知らせて欲しいと思います。



介護予防教室は毎週土曜日に開催



わたしたちも仮設の住人です

表紙に寄せて

6月6日、町すもう場でちびっ子すもう大会が行われました。この大会は、1年生から6年生までの小学生が、各地区ごとにチームを編成して戦い勝敗を決めます。児童の体力向上と親睦を図り、国技に親しむことを目的に開催するもので、今回が33回目となる七ヶ浜伝統の行事です。当日は小雨模様の天気でしたが、選手たちは寒さを吹き飛ばす熱戦を繰り広げました。12チームが参加した大会は、汐見台チームの優勝で25年度場所は幕を閉じました。

表紙の写真は、遠山チームの応援風景の一コマです。みんなとっても楽しそうでした。



町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月4日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください
詳しくは議会事務局まで ☎357-7435

または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

編集後記



東日本大震災から3年目となり、七ヶ浜も着実に復興に向かっていきます。町が最優先で取り組んできた住居の確保では、高台住宅団地の整備が始まりました。工事の開始を一日千秋の思いで待っていた方たちには、一筋の光明が見えたのではないのでしょうか。工事の安全と、一日も早い完成を願っています。

町内の約半数の田んぼで田植えが行われました。おいしいと評判の七ヶ浜米が3年ぶりに復活します。生産者の汗の結晶として、秋には黄金色の稲穂が頭を垂れている光景が目に見えます。

糸久 博

議会広報編集特別委員会
委員長 岡崎 正憲
副委員長 糸久 博
委員 角 靖志
千葉志美枝
遠藤 喜二
渡邊 淳
発行責任者
議長 佐藤 梶信